

I はじめに

現代は物が豊富になり、私たちの生活は便利になった。一方では、様々な環境問題が地球規模で起こっている。

地球規模の環境問題を解決していくためには、世界各国の協力が必要で、そのための条約の締結や取り組みが国際的な規模で進められている。国際的な取り組みの一つとして SDGs がある。SDGs とは、2000 年に国連で定められた目標である MDGs (Millennium Development Goals: ミレニアム開発目標) を引き継いだもので、17 の目標(資料1)は、「誰一人取り残さない (No one will be left behind)」「変革 (transformation)」という考え方に基づいて定められた。

本校では、前次研究より、「社会の変化に対応できる生徒の育成」を目指して研究を進めている。特に本年度からは、SDGs を核にした取り組みを全校で行っている。

保健体育の学習内容には、心と体の健康、安全、防災、環境、スポーツなどがあり、SDGs とは深いつながりがある。

本実践では、保健分野における「健康と環境」の中の「環境の汚染と保全」を取り上げ、SDGs とも関連付けながら学習を進めていく。

II 実践の概要

①実施日時：2019年10月（全3限）

②実施場所：附属中学校第2学年各教室

③授業概要

2年生の保健体育科(保健分野)では、年間を通じて「健康と環境」を学習している。そのなかで、「環境の汚染と保全」について学習する。この単元を発展的にもっと広げる深める学習として「人類と地球の未来のために」という内容も位置づけられている。

本実践では、本単元とSDGsとの関連として、17の目標の中から、「13.気候変動に具体的な対策を」「14.海の豊かさを守ろう」「15.陸の豊かさも守ろう」の3つをターゲットとしながら、「3.すべての人に健康と福祉を」と「4.質の高い教育をみんなに」につなげていった。

授業では、地球温暖化や低炭素社会について取り上げ、自分たちも自分が環境に負荷をかけていることを自覚し、地球にやさしいライフスタイルの実践について考えることを大切にしたい。そこで、「人類と地球の未来のために、自分たちができること」を考えることを課題に iPad を用いた調べ学習やグループワークをもとに授業を進めていった。

Ⅲ 授業の実際

■持続可能な社会について知る

授業は、各教室で行った。はじめに、持続可能な社会について、教科書をもとに学習した。その中でも、持続可能な社会は、「循環型社会」「低炭素社会」「自然共生社会」3つがそろって実現されることを重点的におさえるようにした。

また、実際に起きている環境問題として、地球温暖化と予想される生活への影響と生物多様性の問題を紹介して、これらを解決する必要性を伝えた。

■グループ活動

人類と地球の未来のために、自分たちにはどのようなことができそうか。①「循環型社会」、②「低炭素社会」、③「自然共生社会」の3つの視点から自分たちができそうだと思うこと、してみたいと思うことなどを考えさせ、グループごとに画用紙にまとめさせた。グループは4人とし、インターネット等で調べられるように各グループにiPadを1台ずつ渡した。

■発表・振り返り

最後にグループの発表と個人で振り返りの活動を行った。グループごとに調べたこと・自分たちにできることを発表していった。そして、人類と地球の未来のための地球にやさしいライフスタイルとしてどんなことができるかについて、健康と関連させて考えさせ、個人で感想を書く活動をした。感想用紙を回収し、授業を終えた。

Ⅳ 生徒の感想

- 3Rでは特に Reduce をしっかりする。ゴミの使用をやめない限りごみは生まれ続ける。たとえ Reuse しても Recycle してもそれが最終的にはゴミになる。だから、Reduce を一番推進させたいと思った
- 今まで自分は Recycle (分別) をしっかりすればごみを簡単に出してもいいと思う部分があった。しかし、最も大切な Reduce を忘れていると気づくことができた。

など

Ⅴ おわりに

今回、本単元と SDGs との関連として、17の目標の3つをターゲットとしながら、「3.すべての人に健康と福祉を」と「4.質の高い教育をみんなに」につなげていくことを意識して授業実践を行った。

生徒のグループ活動から、3R に関しての深い探究活動が見られた。これらは、問題を自分事としてとらえ、地球規模での解決を考えていったからこそ生まれた考えではないか。その結果、教科書を越えた自分の考えに達することができたのではないか。

また、その後の生徒の会話の中で実際に「コンビニで袋をもらいませんでした。」などの報告も受けた。このことから、授業で考えたことを実際に実践することまでつながっている生徒がいたことがわかる。SDGs を核にした授業実践を継続的に行っていくことで、持続可能な社会へとつなげていくことができるのではない

か。